

「第2回 おおつき創生プラン素案策定検討市民会議」
会 議 議 事 録

日 時 平成28年11月15日（火） 午後1時30分～午後3時30分

場 所 大月市民会館 4階会議室

出席者 「市民会議 委員15名（4名欠席）」

平井隆委員、天野公男委員、安藤久雄委員、加納健司委員
相馬茂委員、伊奈達委員、奥秋勇雄委員、渡邊勲委員、遠山利徳委員、
内野晃委員、藤田邦芳、榎本勉委員、幡野啓造委員、畠山一美委員、
和田之男委員

「事務局」

大月市 産業建設部 地域整備課 上條 都市整備担当 三澤、石井

1. 議長あいさつ

本日は、お寒い中、また、お忙しいところ、委員の皆さまには、お集まりいただき、本当にありがとうございます。本日は、第2回目の市民会議になります。

事務局からは、前回の会議後に素案の修正と追加された部分が先週の金曜日に届いております。

また、前回の会議後に、委員の皆さまから素案に対する、提案等が事務局にあったと聞いております。

その意見に対する回答案の説明も事務局からあると思います。

その上で、本日の会議で、皆さまの意見を取りまとめることができるのか、事務局の説明を受けた上で、検討をしていただきたいと考えておりますので、委員の皆さまには、活発なご意見をいただくとともに、会議のスムーズな運営にご協力をお願いし、簡単ではありますが、私のあいさつといたします。 よろしくお願ひいたします。

2. 議事

議事1 「おおつき創生都市計画マスタープラン（素案）追加、修正内容について」

【委員】

- ・猿橋地域の地域別構想について、県道猿橋停車場線の改良計画は、現在も生きた計画なのか。地権者との交渉は継続中か。
- ・区画整理事業と併せて地区説明会で必ず議題となる。県道梁川猿橋線の改良工事も現実化した。事業を推進してもらいたい。

【事務局】

- ・県道猿橋停車場線の改良計画は現在も生きている計画である。地権者の同意が得られれば事業化できる状況である。
- ・事業年度は未定であるが、区画整理事業を導入し駅周辺を整備したく計画している。

【委員】

- ・旧富浜中学校の活用方針について、住民説明会で公表するのか。
- ・富浜地区は、旧富浜中学校の活用は重要な課題となっている。市から検討課題を出してもらえば、地元からよい意見が出てくる。
- ・地元からの意見を吸い上げてもらいたい。そのことで、地元要望の内容が変わってくる。

【事務局】

- ・住民説明会において、市の案を提示することで活発な意見を出してもらいたい。

【委員】

- ・鳥沢駅のトイレ設置について、市長は建設すると明言したが、建設できなかった場合、色々な要望が出てくる。
- ・駅に隣接する大月市所有地があるが、駅と地続きではないため、有効に活用できていない。隣接する土地所有者と土地交換等ができれば駅周辺に広い土地が生まれる。
- ・その土地に、老朽化した富浜出張所（富浜公民館）の移転、駅周辺の企業を誘致すれば駅と一体となった土地利用が図られる。

【委員】

- ・鳥沢駅南地区も開発する必要がある。
- ・区画整理事業を導入するとともに、駅改札が必要となってくる。

【事務局】

- ・11月27日の住民説明会においては、丁寧に説明をしたい。
- ・意見、提案を出してもらい、市として意見を吸い上げ計画に反映していきたい。

【委員】

- ・大月駅裏通線13m幅員の計画が示された。13m幅員で市は事業着手するのか。
- ・大月駅北側の誘致施設に具体案があるのか。

【事務局】

- ・最大幅員として13m案を提示したが、大月駅北側の土地利用により幅員構成も再考する必要がある。
- ・商業系の場合は13m必要と考えるが、住居系については、13mは必要ないと考える。
- ・人口問題対策として、人口の増加が目的である。駅周辺に住宅を誘導する計画である。
- ・来年度、立地適正化計画を策定する中で、大月駅北側の土地利用を策定する。大月駅裏通線の幅員についても決定したい。

【委員】

- ・市長との対話集会（梁川地区）においても、大月駅北側が議題となっている。「創生プランの内容」と「市長との対話集会」の内容について、整合性を図ってほしい。
- ・大月駅北側は、大月の核となる施設である。計画を前進させてほしい。

【委員】

- ・大月駅裏通り線 幅員13mの計画が示されているが、確実に事業化できるのか。
- ・道路のみの概算事業費の算出では不十分である。区画整理など北側全体の事業費を算出して計画を策定しなければならない。

【事務局】

- ・来年度策定する立地適正化計画において、具体的計画を策定する。
- ・大月駅裏通線の改良は、区画整理事業は事業が長期化するため、街路事業を導入したい。
- ・事業実施はスピード感をもって対応したいと考えている。

【委員】

- ・災害に備える計画がない。
- ・各廃校の校庭をヘリポートとして利用したらどうか。

【事務局】

- ・関係部署（消防本部、総務管理課）に確認して計画に入れたい。

議事2 「各委員からの提案に対する回答について」

【委員】

- ・人口の流出はどのように食い止めるのか。
- ①中央病院に産婦人科を開設する費用と大月駅北側開発と比べたら北側の予算で産婦人科が開設できる。
 - ②市営住宅の改築＝若い人達に入居してほしい。家賃は特例でも良いので安く設定できないのか。

【事務局】

- ・産婦人科の開設は、東部地域として都留市で対応することとなる。
- ・住宅について、民間開発を導入する手法もある。

【委員】

- ・若い人達のための計画とすべきだ。病院と低家賃の住宅が必要だ。
- ・インパクトのある計画とすべきだ。

【事務局】

- ・住宅の供給は、民間の事業者を募集して、民間の力を入れて整備していきたい。

【委員】

- ・大月に定住するための対策が必要である。
- ・若い世帯のための計画が最優先である。
 - ①保育園に関する支出を半額にする。
 - ②市営住宅の家賃を半額にする。
 - ③市民税を安くする。

【委員】

- ・人口流出を防ぐ対策を優先すべきだ。
- ・「東京に通勤できる」等利便性を強調して対策するべきである。
- ・安価な家賃で住める場所を提供することを重点に計画すべきである。
- ・病院、保育園、幼稚園が重要である。

【委員】

- ・先日道の駅「つる」がオープンした。交通渋滞が発生した。都市計画として道路計画等の基盤整備が重要である。

【委員】

- ・人口問題対策のターゲットは若い世代とするべきである。
- ・古い建物でも家賃が安ければ、若い世帯は入居する。

【委員】

- ・大雨で通行止めにならない対策を講じるべきである。(国道20号が真木地区、梁川地区において雨量規制で通行止めになるとイメージが悪くなる。住みやすい街としてアピールできない。
- ・道路の陥没対策、橋梁の長寿命化対策も必要である。

【事務局】

- ・笹子トンネル崩落事故後、インフラの長寿命化対策が強化されている。市内橋梁は点検を実施しており、対策が必要な場合は対応している。
- ・道路については随時対応している。

【議長】

- ・それでは委員の皆さんから意見をいただいた。議事内容を確認すると意見等について、出尽くしたと思う。
- ・第1回(10月20日)と併せて、提案書を取りまとめたいと思う。
- ・「おおつき創生プラン素案」提案書として決定したいがいかがでしょうか。

【出席委員】

- ・提案書 同意決定

議事3 「その他」

【事務局】

それでは、「その他」ですが、前回の会議で、素案策定の作業スケジュールを提示させていただいております。

来週の土曜日、11月26日（土）から笹子・初狩地区をはじめとして順次、素案の地区説明会を開催する予定しています。

また、承諾いただいた「提案書」は、この審議会から市長に提出をしたいと事務局では、考えていますがいかがでしょうか。

【議長】

- ・事務局からの説明に意見等あるか。

【出席委員】

- ・意見なし

【議長】

- ・それでは、議事が終了しました。
- ・委員の皆さまには、スムーズな会議の進行に、ご協力ありがとうございました。
- ・事務局と提案書のとりまとめを行い、皆さまに配付しますので、確認をお願いします。
- ・それでは、議長を解任させていただきます。本日は、ありがとうございました。

「閉会」午後3時30分

※相馬茂委員からの「各廃校の校庭を災害時のヘリポートとして利用したらどうか。」との質問があり、回答することができませんでした。

後日、防災担当である総務管理課に確認したところ、「災害時には、全ての小中学校のグラウンドをヘリポートとして、使用することは可能である。」との回答がありましたので、各委員に連絡をします。